

獨協大学
×
小野町谷津作行政区

獨協大学こまち「大地の泉」つながるプロジェクト



1. 地区の概要と課題

・谷津作行政区の概要



- ・位置：小野町の真ん中に位置
- ・人口：980人

・昨年度までの活動

- ・オンライン（Zoom）でのミーティング
- ・現地調査（観光資源や源泉の視察、現地の方との交流会）
- ・TERAKOYAプロジェクト など



・谷津作行政区の課題

- ・地域における人と人とのつながりが希薄になっている
- ・源泉活用上の課題

2.今年度実施した取り組みの内容

• オンラインミーティング

- 7月、10月、12月、1月に実施
- 活動内容や現地調査の振り返りなどを行った

• 現地訪問

- 9月と10月に2回実施
- 9月：源泉や温泉神社、湯沢温泉などを視察
- 10月：八雲神社の例大祭（子ども神輿）に参加

• 福島県地域振興物産展

- Earth Week Dokkyo 2023 ~Winter~において町内の特産品を販売した



2.1. 現地調査の内容

現地調査① 9月9日・10日

新メンバー加入を受けて実施。諏訪神社などの観光資源や、源泉、温泉神社の視察や現地の方との交流会を行った。現地の様子を見ることで、現地の様子をより深く理解することができた。



現地調査② 10月13日・14日

10月14日に開催された八雲神社の例大祭に参加。神輿の補助や装飾、片付けなどを行った。実際のお祭りに参加することで新たなことに気づくことができた。



3. まとめ

➤ 源泉活用の基本方針について決めることができ、1歩前進できた

課題	<ul style="list-style-type: none">• 住民同士のつながりが希薄で、町の担い手となる若者の減少している• 源泉活用に関する様々な問題が存在している
やりがい	<ul style="list-style-type: none">• 小野町の雰囲気や様子を身をもって知ることができた• 地域の子どもと関わりを持つことができた• 地域のイベントに参加することで、地域のイベントを体験できた
発見	<ul style="list-style-type: none">• 子どもが普段は行かない神社に行ってくれたこと• 神社の様子や地域の祭りについてどのようなものか知ることができたこと
評価の高かった取り組み	<ul style="list-style-type: none">• 10月14日の例大祭（子ども神輿）

4. 今後に向けて

来年度の活動

- お祭りのイメージや内容、名称について考える
- 考えたイベントのアイディアのうち、できるものを祭りのプレイベントとして開催する
- 大学内において学生同士のミーティングを積極的に開催する



**地域におけるつながりを創造するために、源泉を活用した温泉神社のお祭りを
ゼロベースで復活させる**

- **現時点でのアイディア**
 - 源泉の温泉水を活用して流しそうめんを行う
 - 温泉水をプールに活用する など